

大学生と集落の協働による
地域活性化事業

福島大学×二本松市北戸沢保全会

令和5年 2月11日（土）

福島大学 岩崎ゼミ

1.地区の印象と捉えた課題

○印象

- ・ 自然豊かな中山間地域
- ・ 少子高齢化が進んでいるが、地域のつながりは充実

○課題

- ・ 住民の高齢化や人口減少により、地域資源の維持管理が困難にとくに、竹林の整備が大きな課題
- ・ 「田向の湯」の利活用



2.今年度の活動内容

- ・ 9月10日 顔合わせ
保全会役員3名と集会所にて顔合わせ
地域の現状についてのお話、役員の方と地域の散策
- ・ 10月9日 お祭り
顔合わせ時に紹介していただいた近くのお祭りを見学
(針道のあばれ山車)
- ・ 11月11日 保全会の役員会に参加
現在の地域課題についての話し合い



2.今年度の活動内容

- ・11月27日 保全会作業①
12月11日 保全会作業②
役員会で決定した竹の寄切作業に参加
住民の方々に地域の変化や思いなどについてインタビュー
- ・1月12日 保全会事務局長にオンラインインタビュー
北戸沢に移住した経緯や今後の取り組みなどについて
- ・1月19日 大学のゼミにてワークショップ
地域の良さをどう活かすか、今後こういった取り組みができるかなどについてクロスSWOT分析を用いて議論



3. 課題解決のための提案、考察

○提案

- ・ 里山の整備とその利活用

→ 学生と地域の方々の協働により、里山を守る活動を展開

○今年度の活動の考察

お祭りや大学生受け入れによる
地域外の人とのふれあい

+

役員会や保全活動による住民同士の交流

人のつながりの更なる拡大を志向

4. 今後に向けて

- ・ 現在使用されていない屋敷道を活かしたフットパスを整備し、交流人口を呼び込む
- ・ 併せて、豊富にある竹と田向の湯の利活用についても検討

